

**地域医療構想を踏まえた
「2025 年に向けた対応方針」
(民間病院プラン)**

県西構想区域



2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月21日						
医療機関名称	医療法人 小林病院			開設者	小林 泉		
所在地	神奈川県小田原市栄町1-14-18						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	103床	60床				163床
	稼働病床数	63床	60床				123床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数		35床	28床	60床	40床	163床
	稼働病床数		35床	28床	60床		123床
診療科目	内科・外科・循環器科・整形外科・泌尿器科・リハ科・ペインクリニック・健診科・婦人科・呼吸器内科・神経内科・消化器外科・脳外科・歯科						
職員数	医師:16.07人 看護職員:65.63人 看護補助者:26.69人 薬剤師:3人 放射線技師:3.37人 理学療法士:12人 作業療法士:6人 言語聴覚士:3人 臨床検査技師7.07人 臨床工学技士:4人 保育士:3.44人 管理栄養士:2人 歯科衛生士:2人 社会福祉士:2人 事務:21.01人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
	○ 告示・輪番		○ (6床)	○ (28床)			
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	小田原駅前徒歩5分に立地し、開院以来110年の歴史を持つ地域密着型病院 小田原市内で初めて回復期リハ病棟・地域包括病床を開設し地域医療機関との連携も密接である						
課題等	常勤医師の高齢化(2018年現在 64.8歳) 建物の老朽化(30年経過) 看護師のリクルート環境が困難である						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
		35床	28床	60床	40床		163床
今後地域で担う役割等	小田原市内の人口動態を考え、急性期から順次地域包括病床に転換し、「基本在宅・時々入院」のニーズに応えられるように地域医療機関・訪問看護ステーションと連携を密にする 「家に帰す」というコンセプトの下、リハビリを質的・量的に向上させる						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	一般病棟35床(一般病床29床+地域包括病床6床)→地域包括病棟35床 現在、一般病床の看護基準が10:1であるが、今後看護基準を満たせない可能性があり「基本在宅・時々入院」のニーズを満たすために地域包括に転換 2025年を目途に全て転換		
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	診療科に関しては現行を維持する予定であるが、小田原市内の人口動態と医師の高齢化を鑑みダウンサイジングは必須となるため必ずしも維持にはこだわらない むしろ診療科の絞り込みを検討する必要がある		
その他・自由記載欄			
数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	83.00%		
手術室稼働率	不明		
紹介率	不明		
逆紹介率	不明		
他医療機関・介護施設等との連携について			
主な受入元 (医療機関・施設名)	①救急搬送 東海大学病院 ②受入元 小田原市立病院 ③受入元 老健 水之尾		
主な退院先 (医療機関名・施設名)	①老健 水之尾 ②小田原市立病院 ③在宅		
特に力を入れている疾患等			
入院不可・対応不可の疾患等			
連携に関する要望や課題認識等	①療養病床の看護区分を満たすために、重症度の高い患者を受けざるを得ない ②社会的入院など長期入院患者の受入れ先が見つからない		

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月28日						
医療機関名称	小澤病院	開設者	医療法人 同愛会				
所在地	神奈川県小田原市本町1丁目1番17号						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	202床	0床	0床	0床	0床	202床
	稼働病床数	202床	0床	0床	0床	0床	202床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数	0床	202床	0床	0床	0床	202床
	稼働病床数	0床	202床	0床	0床	0床	202床
診療科目	内科 循環器内科 血液内科 腎臓内科(人工透析) 呼吸器内科 糖尿病・代謝内科 消化器内科 脳神経内科 神経内科 外科 消化器外科 呼吸器外科 整形外科 形成外科 眼科 麻酔科(ペインクリニック) 婦人科 泌尿器科 皮膚科 リウマチ科 リハビリテーション科 歯科口腔外科						
職員数	医師:26.5人 歯科医師:2.2人 看護師:121.1人 准看護師6.7人 看護補助者:15.2人 薬剤師:11.0人 管理栄養士:5.0人 診療放射線技師:7.0人 理学療法士:5.0人 作業療法士:4.0人 言語聴覚士:1.0人 臨床検査技師:12.8人 臨床工学技士:8.0人 視能訓練士:5.0人 歯科衛生士:4.0人 社会福祉士:4.0人 診療情報管理士:4.0人 事務職:43.0人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
	○ 告示・輪番					○	
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	県西地域において、私的病院内で唯一の病床200床以上の急性期病院。 また県西地域において、血液内科を有する唯一の病院である。						
課題等	更なる救急受入体制の充実、入院環境の向上、将来の診療科開設への対応を行う上で、現在の病院を改修し対応することは限界に達しつつあり、新病棟の建設を行う必要があると考えている。						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
	0床	202床	0床	0床	0床	0床	202床
今後地域で担う役割等	二次救急医療機関として、引き続き一般救急医療対応を中心とした、急性期医療の提供を行う。在宅療養後方支援病院として、在宅医療における急性増悪時の救急・入院治療提供を行い、また医療と介護の積極的連携による退院支援を充実し、地域包括ケアシステムへの貢献を行う。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	特になし		
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	急性期病院として疾患別自己完結率上昇を目指し、各診療分野の専門医を配置する事により内科系疾患のみならず、がん診療をはじめとした外科系、整形外科系疾患への取り組みを強化する予定。		
その他・自由記載欄			
数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	77.4%		平成29年4月1日～平成30年3月31日で算出
手術室稼働率	—		手術室稼働率については算出していません
紹介率	67.4%		平成30年6月1日～平成30年8月31日で算出
逆紹介率	36.6%		平成30年6月1日～平成30年8月31日で算出
平均在院日数	11.7日		平成30年6月1日～平成30年8月31日で算出
他医療機関・介護施設等との連携について			
主な受入元 (医療機関・施設名)	①救急搬送(487名)②小田原市立病院(3名)③蛭田診療所(2名)④杏林堂クリニック(1名)⑤特別養護老人ホーム 箱根老人ホーム(5名)⑥特別養護老人ホーム 西湘老人ホーム(9名)⑦介護老人保健施設 ニューライフ湯河原(5名)⑧介護老人保健施設 水之尾(1名)⑨介護老人保健施設 あじさいの郷(1名)【平成30年6月1日～平成30年8月31日で算出】		
主な退院先 (医療機関名・施設名)	①小田原市立病院(10名)②東海大学医学部付属病院(5名)③湯河原中央温泉病院(3名)④西湘病院(3名)⑤高台病院(3名)⑥間中病院(2名)⑦小林病院(2名)⑧箱根リハビリテーション病院(1名)⑨特別養護老人ホーム 箱根老人ホーム(4名)⑩特別養護老人ホーム 西湘老人ホーム(10名)⑪特別養護老人ホーム いこい(7名)⑫介護老人保健施設 ニューライフ湯河原(4名)⑬介護老人保健施設 あじさいの郷(4名)⑭介護老人保健施設 葵の園小田原(1名)【平成30年6月1日～平成30年8月31日で算出】		
特に力を入れている疾患等	内科系疾患、血液内科疾患、整形外科疾患		
入院不可・対応不可の疾患等	カテーテル検査・治療、手術を伴う脳神経外科疾患、熱傷、放射線治療		
連携に関する要望や課題認識等	当院においても独自に連携強化に向けた取り組みを行っているが、地域全体としての連携協力体制を構築してほしい。		

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年10月5日						
医療機関名称	山近記念総合病院	開設者	医療法人 尽誠会				
所在地	小田原市小八幡3-19-14						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	152床					152床
	稼働病床数	152床					152床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数		152床				152床
	稼働病床数		152床				152床
診療科目	内科、循環器内科、リウマチ科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、リハビリテーション科、麻酔科						
職員数	法人医療部門職員数(常勤換算) 医師:28.9人、看護職員:109.5人、看護補助者:17.0人、コ・メディカル:35.8人、事務職:39.9人、栄養調理職員:16.0人、その他(清掃等):7.5人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
	○ 告示・輪番						
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	小田原の川東地区における唯一の総合病院であり、二次輪番病院として救急医療・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・眼科・形成外科での手術症例も多く、総合診療としての内科診療、循環器内科での狭心症・心筋梗塞の治療等に取り組んでいる。						
課題等	県西医療圏で最も懸念されている課題は、救急医療(特にその中心となる二次救急医療)が今後どうなるか。 急性期病棟が減少することで、二次輪番病院の維持・運営を続けることが出来なくなる可能性が高い。						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
		152床					152床
今後地域で担う役割等	現状の体制維持を目指すことで、川東地区の総合病院機能を発揮する。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	特になし。
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	特になし。
その他・自由記載欄	

数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	76.8%		
手術室稼働率	計算していない		
紹介率	15.2%		
逆紹介率	34.9%		

他医療機関・介護施設等との連携について	
主な受入元 (医療機関・施設名)	小田原医師会 71施設、足柄上医師会 15施設 中郡医師会 8施設、その他 25施設
主な退院先 (医療機関名・施設名)	病院 14施設、施設 15施設
特に力を入れている疾患等	
入院不可・対応不可の疾患等	精神疾患の強い患者
連携に関する要望や課題認識等	開放型病床の運用促進

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月28日						
医療機関名称	医療法人社団温知会 間中病院	開設者	渡邊 光康				
所在地	神奈川県小田原市本町4-1-26						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	90床					90床
	稼働病床数	90床					90床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数		45床	45床			90床
	稼働病床数		45床	45床			90床
診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科 形成外科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科						
職員数	医師:11.5人、看護師:55.7人、看護補助者:18人、薬剤師:2.7人 理学療法士/作業療法士/言語聴覚士:39.8人、栄養士:2人 診療放射線技師:4.7人、臨床検査技師:4.8人 事務:28.8人、営繕:3.1人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出しているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
	○ 告示・輪番		○ (20床)	○ (45床)	○		
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	①回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリを通じた在宅復帰支援 ②通院が困難な、または寝たきり状態にある患者様に対する在宅医療(訪問診療・訪問看護)						
課題等	急性期病棟が多い地域であるため、当院が持つ急性期病棟(45床)の役割・機能の再検討が必要な状況にある。						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
		45床	45床				90床
今後地域で担う役割等	回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリを通じた在宅復帰支援、訪問診療や訪問看護等の在宅医療は今後も強化していく方針。 ※急性期病棟(急性期入院基本料5:25床、地域包括ケア入院医療管理料1:20床)の今後のあり方については現在検討中。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	未定
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	未定
その他・自由記載欄	特になし。

数値目標等			
項目	現状(2018年)※8月	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	94.3%	検討中	
手術室稼働率	0%		
紹介率	入院:22.9%		
逆紹介率	—		

他医療機関・介護施設等との連携について	
主な受入元 (医療機関・施設名)	小田原市立病院、足柄上病院、小澤病院、西湘病院
主な退院先 (医療機関名・施設名)	約90%以上は在宅。その他は病院(小田原市立病院、湯河原中央温泉病院等)、老健(にじの丘足柄、ひまわりの里、西湘老人ホーム、あじさいの郷等)、特養(いこい等)
特に力を入れている疾患等	脳血管疾患・運動器疾患
入院不可・対応不可の疾患等	小児・周産期、重度の循環器疾患
連携に関する要望や課題認識等	行政主導による地域医療・介護連携会議の開催

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月13日						
医療機関名称	丹羽病院			開設者	医療法人社団 帰陽会		
所在地	神奈川県小田原市荻窪406番地						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	51床					51床
	稼働病床数	51床					51床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数		51床				51床
	稼働病床数		51床				51床
診療科目	消化器外科、消化器内科、外科、内科、肛門科						
職員数	医師 7.23人、看護職員 32.9人、看護補助 5.5人、薬剤師 2.0人、管理栄養士2.6人、臨床検査技師 9.3人、放射線技師 2.2人、事務職員 14.0人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	緊急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
	○				○		
	告示・輪番						
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	1969年に消化器専門病院として開設し、現在に至るまで消化器病に関する専門的な診療から高度の治療までを担うことをモットーに医療を展開している。						
課題等	地域の医療需要の減少が見込まれること、近隣の急性期病院との機能の一部重複があることから、現状の体制を維持すべきか否か、検討が必要						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
		51床					51床
今後地域で担う役割等	在宅療養支援病院として、地域医との連携と役割を分担するとともに、医療、保健、福祉の環境が一つになり救急医療や疾病予防、在宅支援までの機能が、シームレスにつながるサービスを提供し、地域住民の生活を護ることを目指します。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	なし
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	なし
その他・自由記載欄	なし

数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(2025年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	69.90%	目標値を設定していません	
手術室稼働率	33.33%	目標値を設定していません	
紹介率	33.67%	目標値を設定していません	
逆紹介率	11.49%	目標値を設定していません	

他医療機関・介護施設等との連携について	
主な受入元 (医療機関・施設名)	東海大学病院 (伊勢原・大磯) 、 にじの丘足柄(介護保健施設)
主な退院先 (医療機関名・施設名)	にじの丘足柄(介護保健施設)
特に力を入れている疾患等	消化器系
入院不可・対応不可の疾患等	消化器系以外および児童・幼児
連携に関する要望や課題認識等	なし

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月21日						
医療機関名称	小田原循環器病院	開設者	医療法人邦友会				
所在地	小田原市矢作296番地1						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	97床					97床
	稼働病床数	97床					97床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数	7床	90床				97床
	稼働病床数	7床	90床				97床
診療科目	循環器内科、心臓血管外科、腎臓内科、消化器外科、整形外科、 特殊外来(糖尿病科、皮膚科、泌尿器科、ペースメーカー)						
職員数	医師：13.5人、看護職員：90.5人、薬剤職：5.9人、医療技術職：40.9人、 労務職：13.4人、事務職員：26.1人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出を しているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア 病棟(病床)	回復期リハビリ テーション病棟	在宅療養支援 病院	在宅療養後方 支援病院	
	○ 告示						
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	心臓、腎臓疾患の専門病院として1981年に開院し、当初より希少なリハビリテーション施設を備え、患者さんへの医療の質的向上を目指して、心臓・腎臓の疾患の合併症まで含めたトータルケアを行い、地域に根差した医療を展開しています。心臓カテーテルによる冠動脈形成術、末梢動脈治療、下肢静脈瘤治療、カテーテルアブレーション、ペースメーカーや植込み型除細動器などのデバイス治療、冠動脈バイパス術、弁置換術、大動脈瘤手術などの治療を行っています。また腎臓疾患では初期の蛋白尿から末期の透析療法に至るまで幅広い治療を行っています。						
課題等							
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
	7床	90床					97床
今後地域で担う役割等	心臓病では初期の病状から合併症に至るまでトータルケアを行い、地域に根差した医療を展開する。心臓カテーテルによる冠動脈形成術、末梢動脈治療、下肢静脈瘤治療、カテーテルアブレーション、ペースメーカーや植込み型除細動器などのデバイス治療、冠動脈バイパス術、弁置換術、大動脈瘤手術などの治療を行う。腎臓疾患では初期の蛋白尿から慢性腎臓病とその合併症、末期に至っては透析療法を含む血液浄化療法から腎移植まで幅広い治療を行う。これらの治療の底辺にはもちろん食事、運動、薬物療法が存在する。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	
その他・自由記載欄	

数値目標等

項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	75.00%		
手術室稼働率	68%		
紹介率	38.80%		
逆紹介率	31.20%		

他医療機関・介護施設等との連携について

主な受入元 (医療機関・施設名)	神奈川病院(16名) 間中病院(16名) 白鷗医院(9名) 西湘病院(9名) 2018年1~8月実績
主な退院先 (医療機関名・施設名)	高台病院(療養病棟13名) 西湘病院(療養病棟7名、一般病棟5名)、神奈川病院(一般病棟12名) 在宅(1,378名) 2018年1~8月実績
特に力を入れている疾患等	
入院不可・対応不可の疾患等	
連携に関する要望や課題認識等	

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年10月12日						
医療機関名称	医療法人財団報徳会 西湘病院	開設者	原 俊介				
所在地	神奈川県小田原市扇町1-16-35						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	45床	57床				102床
	稼働病床数	45床	57床				102床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数		45床		57床		102床
	稼働病床数		45床		57床		102床
診療科目	内科・外科・整形外科・脳神経外科・美容外科・リハビリテーション科・循環器内科・婦人科 消化器内科・消化器外科						
職員数	医師10名、看護師43名、准看護師9名、看護助手17名、放射線技師10名、検査技師7名 リハビリテーション科11名、臨床工学技士4名、社会福祉士2名、栄養科1名、事務15名						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア 病棟(病床)	回復期リハビリ テーション病棟	在宅療養支援 病院	在宅療養後方 支援病院	
	○ 告示・輪番						
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	脳神経外科による急性期医療。24時間365日対応可。						
課題等	看護師確保						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
		45床		57床			102床
今後地域で担う役割等	脳神経外科による急性期医療の医事						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	現在は特に検討していません
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	現在は特に検討していません
その他・自由記載欄	

数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	3F82.2%4F79.2%	3F85% 4F88%	
手術室稼働率	94%	96%	
紹介率	45.10%		
逆紹介率	15.50%		

他医療機関・介護施設等との連携について	
主な受入元 (医療機関・施設名)	小田原市立病院・小林病院・小田原循環器病院・小澤病院・間中病院・吉田整形外科 おだわら東乃整形外科・悠久・石井呼吸器内科・お堀端クリニック
主な退院先 (医療機関名・施設名)	鶴巻温泉病院・小林病院・間中病院・JCHO湯河原病院・小田原市立病院・東海大学医学部付属病院
特に力を入れている疾患等	脳血管疾患
入院不可・対応不可の疾患等	腸瘻・膀胱ろう
連携に関する要望や課題認識等	病棟看護師の連携に対応する意識づけ、教育 (在宅介護のイメージをどう認識するか、理解を促すか)

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年10月11日						
医療機関名称	永井病院	開設者	医療法人社団三暉会				
所在地	神奈川県小田原市鴨宮219-5						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	45床					45床
	稼働病床数	45床					45床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数		45床				45床
	稼働病床数		45床				45床
診療科目	産婦人科						
職員数	医師:3.9人、看護職員:25.9人、薬剤師:1人、臨床検査技師:2人、事務職員:8人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
	○ 告示						
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	神奈川県西部地区で唯一の産婦人科専門病院である。周産期医療を中心に不妊症治療・子宮癌・乳癌検診・更年期障害治療・避妊相談など産婦人科全般に渡る医療を提供している。特に分娩に関しては、自然経膈分娩のみならず急速遂娩(吸引分娩・鉗子分娩・帝王切開術)にも対応している。安心・安全で快適な分娩が出来るよう日々研鑽を積み努力している。当院は、救急告示病院、母体保護法指定医療機関である。						
課題等							
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
		45床					45床
今後地域で担う役割等	産婦人科医療、特に周産期医療を中心とした医療体制は維持していく。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	予定なし
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	予定なし
その他・自由記載欄	

数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	82.0%		
手術室稼働率	77.4%		
紹介率	2.2%		
逆紹介率	0.1%		

他医療機関・介護施設等との連携について	
主な受入元 (医療機関・施設名)	
主な退院先 (医療機関名・施設名)	
特に力を入れている疾患等	周産期医療
入院不可・対応不可の疾患等	ハイリスク妊娠、悪性腫瘍
連携に関する要望や課題認識等	

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月21日						
医療機関名称	湯河原胃腸病院	開設者	医療法人社団中山会				
所在地	神奈川県足柄下郡湯河原町土肥4-3-1						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	58床	50床				108床
	稼働病床数	58床	50床				108床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数		58床		50床		108床
	稼働病床数		58床		50床		108床
診療科目	外科・消化器外科・肛門外科・内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科・皮膚科・						
職員数	医師:7.7人、看護職員:38.7人 看護補助者:13.5人、薬剤師:2人、検査技師:4人 放射線技師:2人、臨床工学技士:2人、管理栄養士:1人社会福祉士:1人 事務職員:12人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
	○ 輪番						
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	現在、湯河原町には湯河原病院、湯河原中央と当院の3病院があり、当院は、開設以来、唯一外科病院として救急医療をはじめ、近くは慢性維持透析を実施し町の地域医療に貢献している。						
課題等	人材の確保が難しく、療養病棟でのリハビリの需要にこたえきれていないことから、理学療法士、作業療法士の確保が急務となる。また、災害時の人工腎臓機器の電力確保のための施設改修等。						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
		58床		50床			108床
今後地域で担う役割等	救急指定病院(2次救急)としての役割の充実 慢性疾患患者の受入れ 慢性維持透析患者の受入れ						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	
その他・自由記載欄	

数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	一般病床 55% 療養 96%		
手術室稼働率	42.0%		
紹介率	23.80%		療養病棟 100%
逆紹介率	9.90%		

他医療機関・介護施設等との連携について	
主な受入元 (医療機関・施設名)	国際福祉熱海病院・東海大学病院・小松クリニック・河合医院・小林病院 川越内科クリニック・真鶴診療所
主な退院先 (医療機関名・施設名)	心花春(特養)・熱海病院・東海大大磯・JCHO湯河原病院
特に力を入れている疾患等	消化器疾患・慢性腎不全
入院不可・対応不可の疾患等	脳血管疾患・骨折
連携に関する要望や課題認識等	

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月20日						
医療機関名称	湯河原中央温泉病院	開設者	一般財団法人生活保健協会				
所在地	足柄下郡湯河原町中央4-11-2						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数		345床				345床
	稼働病床数		345床				345床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数				345床		345床
	稼働病床数				345床		345床
診療科目	内科						
職員数	医師7.375人 看護師83.8人 専門職19人 介護職87.5人 事務職17人 その他28.5人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	種々の慢性期疾患、特に脳血管障害後遺症や生活習慣病などにより、更なる医学的治療や管理及びリハビリテーションの必要な患者様を対象とした療養型病院です。相模湾が広く望め、敷地内に単純泉の源泉を有し、豊富な量の温泉を利用しての入浴やリハビリを行っています。						
課題等	①政府の在宅推進政策により在宅系施設の増加・看取り強化が進み、今後病床稼働率の上昇は望めず最適病床数の見直しが必要となる。 ②医療区分高患者率の増加要素が考えられず、減算率の強化が行われ大きな減収となること。 ③慢性的な人手不足状態。						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
				222床		96床	318床
今後地域で担う役割等	現在の慢性期医療の提供体制は維持していく。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	345床(医療療養病床313床、介護療養病床32床)を、318床(医療222床、介護医療院96床)に減床し、県高齢福祉課・町介護課・保健福祉事務所に相談を行っている。 2019年4月1日転換予定。		
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等			
その他・自由記載欄			
数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	98.00%	100%	
手術室稼働率			
紹介率			
逆紹介率			
他医療機関・介護施設等との連携について			
主な受入元 (医療機関・施設名)	①小田原市立病院 ②国際医療福祉大学熱海病院 ③小澤病院		
主な退院先 (医療機関名・施設名)	療養型病院のため主な転院先 ①小田原市立病院 ②国際医療福祉大学熱海病院 ③JCHO湯河原病院 ④老健・特養		
特に力を入れている疾患等	脳血管障害後遺症		
入院不可・対応不可の疾患等	透析・人工呼吸器管理		
連携に関する要望や課題認識等	身体拘束に関する情報 家族の最終段階における治療の意向確認		

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月22日						
医療機関名称	箱根リハビリテーション病院	開設者	山田 多佳子				
所在地	神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1285						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数		192床				192床
	稼働病床数		140床				140床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数			40床	100床	52床	192床
	稼働病床数			40床	100床	52床	192床
診療科目	内科・神経内科・リハビリテーション科						
職員数	医師:7人、看護職員:51.3人、看護補助職員:41.3人、リハビリ職員:26人、薬剤師:2人、検査技師:1人、放射線技師:1人、社会福祉士:2人、管理栄養士:2人、調理員:13.8人、事務職員:8人、その他:7人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
				○ (40床)			
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	箱根町唯一の病院であり、回復期リハビリ・嚥下訓練・内科療養を主とし、地域の介護予防事業受託や併設老健施設での通所リハビリ・訪問リハビリ等、在宅支援支援も行っている。						
課題等	2018年度中に介護医療院41床の開設を準備している。休止病床41床を、今後回復期病棟として再開を計画している。また、患者ニーズにより地域包括ケア病棟転換も検討する。						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
			96床	55床		41床	192床
今後地域で担う役割等	地域の高齢者率が35%を超え、さらに増加していく傾向であり、2019年度より訪問診療・訪問看護の充実を図る予定である。入院についてもサブアキュートに対応できる体制を構築していく。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	現在の許可病床は192床、医療療養病棟41床を介護医療院として開設予定のため、許可病床は151床となる。現在休止している療養病棟41床については、2019年度中旬に回復期病床として再開する予定。
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	外来診療や健康診断実施の拡充準備を少しずつ進めている。地域医療が徐々に衰退していくことが予想され、地域の病院としての機能を高めていくことが必要とされている。
その他・自由記載欄	

数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	85.00%	95%	
手術室稼働率			
紹介率			
逆紹介率			

他医療機関・介護施設等との連携について	
主な受入元 (医療機関・施設名)	①小田原市立病院 ②前田脳神経外科(御殿場市) ③東海大学付属病院
主な退院先 (医療機関名・施設名)	①自宅 ②介護老人保健施設デンマークイン箱根(併設)
特に力を入れている疾患等	脳血管疾患、大腿骨骨折
入院不可・対応不可の疾患等	透析など
連携に関する要望や課題認識等	

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月19日						
医療機関名称	太陽の門	開設者	社会福祉法人 風祭の森				
所在地	神奈川県小田原市風祭563						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	52床					52床
	稼働病床数	52床					52床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数				52床		52床
	稼働病床数				52床		52床
診療科目	内科、小児科、神経内科、リハビリテーション科						
職員数	医師:3.17人、看護職員:16.34人、介護職員:26.45人、リハビリ職員:4.0人、薬剤師:1人、レントゲン技師:0.05人、管理栄養士:1人、事務職員:5.85人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	重症心身障害者(児)入所施設						
課題等							
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
				52床			52床
今後地域で担う役割等	県西地域唯一の重症心身障害者(児)入所施設として維持していく。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	
その他・自由記載欄	

数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	92.30%		
手術室稼働率			
紹介率			
逆紹介率			

他医療機関・介護施設等との連携について	
主な受入元 (医療機関・施設名)	
主な退院先 (医療機関名・施設名)	
特に力を入れている疾患等	
入院不可・対応不可の疾患等	
連携に関する要望や課題認識等	

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月27日						
医療機関名称	北小田原病院			開設者	医療法人社団明芳会		
所在地	神奈川県南足柄市矢倉沢625番地						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数		55床	290床			345床
	稼働病床数		55床	290床			345床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数				55床		55床
	稼働病床数				55床		55床
診療科目	内科・精神科・脳神経内科・老年精神科・皮膚科						
職員数	医師:9.2名 看護職員:86名 介護職員62名 技術職員28名 事務職員20名						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	神経内科医師が担当しており、パーキンソン病等難病についても積極的受入している。						
課題等							
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
				55床			55床
今後地域で担う役割等	急性期病院から医療継続の必要とする患者の受け皿。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	予定なし
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	現在予定なし
その他・自由記載欄	

数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	95.00%	95%	
手術室稼働率			
紹介率			
逆紹介率			

他医療機関・介護施設等との連携について	
主な受入元 (医療機関・施設名)	足柄上病院・小田原市立病院・
主な退院先 (医療機関名・施設名)	
特に力を入れている疾患等	認知症疾患・精神疾患
入院不可・対応不可の疾患等	薬物・アルコールに係わる精神疾患
連携に関する要望や課題認識等	

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月22日						
医療機関名称	医療法人社団朱鷺会大内病院	開設者	医療法人社団朱鷺会				
所在地	神奈川県南足柄市中沼594-1						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	53床					53床
	稼働病床数	52床					52床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数		53床				53床
	稼働病床数		52床				52床
診療科目	小児科 内科 循環器内科 糖尿病内科 消化器内科 アレルギー科 皮膚科 外科 循環器外科 消化器外科 肛門外科 整形外科						
職員数	医師 5.2人 看護職員 19.1人 看護助手 8.5人 放射線技師 1.3人 検査技師 2.2人 薬剤師 1.2人 管理栄養士 1名 事務職員 4人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
	○ 告示・輪番				○		
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	地域一般入院料3を届出しており、急性期疾患から慢性期、看取りまでの入院対応が可能。						
課題等	医師、看護師等の人員確保。						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
		52床					52床
今後地域で担う役割等	高齢化に伴い、地域の高齢者の急性期疾患への対応から慢性期、看取りまでの対応。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	一般病床より地域包括ケア病床へ何床か変更検討中。
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	一般病床より地域包括ケア病床へ何床か変更検討中。
その他・自由記載欄	地域包括ケア病床へ何床変更するか具体的に決定していない為、今回の2025年予定の病床機能については急性期52床としてあります。

数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(2025年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	80.01%	90%	
手術室稼働率	0%		
紹介率	>		
逆紹介率	<		

他医療機関・介護施設等との連携について	
主な受入元 (医療機関・施設名)	神奈川県立足柄上病院 小田原市立病院 平塚共済病院 特別養護老人ホーム草の家、潤生園、レストフルヴィレッジ 介護老人保健施設あじさいの郷
主な退院先 (医療機関名・施設名)	
特に力を入れている疾患等	特になし
入院不可・対応不可の疾患等	専門外の疾患。(精神疾患等)
連携に関する要望や課題認識等	特になし

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年10月10日						
医療機関名称	医療法人陽風会高台病院			開設者	北原信夫		
所在地	神奈川県足柄上郡金井島1983						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数		310床				310床
	稼働病床数		310床				310床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数				310床		310床
	稼働病床数				310床		310床
診療科目	内科・歯科・リハビリテーション科						
職員数	医師 8.1名 看護師 84.5名 介護職 75.4名 医療技術職 17.5名 事務職 24.7名						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	<ul style="list-style-type: none"> 嚥下機能の回復に向けたケアと在宅復帰機能の強化 個別性のある看取りケアの実施 急性期病院からの紹介率 90% 県西地区からの受け入れ患者率は52%で、県西地区以外からの患者の受け入れもあり 在宅の透析患者の無料送迎(車いすレベルまで対応可能)を実施して在宅生活の維持を支援 						
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 在宅復帰支援を実施する上で、地域の医療機関やサービス提供機関との連携強化・拡大 医療従事者の確保・育成 						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
				310床			310床
今後地域で担う役割等	<ul style="list-style-type: none"> 急性期病院からの後方支援病院となるため、早期に患者を受け入れるリハビリテーションを実施し、在宅への退院を促進して空床を確保する。 在宅への退院が困難な患者への看取りケアも行い地域に必要とされる病院を目指す。 地域で生活する透析患者の通院と入院を円滑に受け入れる(レスパイト対応)*維持透析のみ 						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	予定なし
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	予定なし
その他・自由記載欄	

数値目標等

項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	99.40%		
手術室稼働率	-		
紹介率	100.00%		
逆紹介率	-		

他医療機関・介護施設等との連携について

主な受入元 (医療機関・施設名)	①足柄上病院 12% ②小田原市立病院 11% ③小澤病院 10%
主な退院先 (医療機関名・施設名)	①死亡 80% ②急性期病院 9% ③在宅系 5%
特に力を入れている疾患等	
入院不可・対応不可の疾患等	人工呼吸器、重度の認知症、結核
連携に関する要望や課題認識等	

2025年に向けた対応方針

作成日	2018年9月28日						
医療機関名称	佐藤病院			開設者	医療法人 藤誠会		
所在地	神奈川県足柄上郡大井町金子1922-3						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数		30床				30床
	稼働病床数		30床				30床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数				30床		30床
	稼働病床数				30床		30床
診療科目	内科・外科・整形外科・泌尿器科						
職員数	医師2.9人 看護職員13.6人 介護職員10.5人 薬剤師1人 放射線技師1人 管理栄養士1人 事務職員6人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等							
課題等							
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
				30床			30床
今後地域で担う役割等	地域に密接した医療をめざし、他事業所との連携を密にした在宅医療、訪問診療を考える。						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等			
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等			
その他・自由記載欄			
数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(20年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率			
手術室稼働率			
紹介率			
逆紹介率			
他医療機関・介護施設等との連携について			
主な受入元 (医療機関・施設名)	小田原市立病院・足柄上病院・山近病院・小澤病院・西湘病院・ひかりの里		
主な退院先 (医療機関名・施設名)	小田原市立病院・足柄上病院・山近病院・小澤病院・西湘病院・ひかりの里		
特に力を入れている疾患等			
入院不可・対応不可の疾患等			
連携に関する要望や課題認識等			

2025年に向けた対応方針

作成日	2018. 9. 27						
医療機関名称	日野原記念ピースハウス病院	開設者	一般財団法人ライフ・プランニング・センター 理事長 道場 信孝				
所在地	神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1						
医療機関の現状							
病床種別		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計
	許可病床数	22床					22床
	稼働病床数	22床					22床
病床機能 (2018年)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数				22床		22床
	稼働病床数				22床		22床
診療科目	緩和ケア科						
職員数	医師:3.21人、看護職員:24.4人、薬剤部門:1人、栄養部門:4.4人、事務部門:3.4人						
指定・届出等の 状況 (指定を受けているもの、届出をしているものに○)	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
		○ 22床					
自院の特徴、得意分野、特筆すべき事項等	日本初の独立型ホスピスとして、日本のホスピス緩和ケアの発展に尽力してきた。ホスピス教育研究所を併設しており啓発・教育事業実績がある。今後はがん・エイズのみならず、誰もが平等に受けられる緩和ケアの提供を推進していく。						
課題等	建物の老朽化および病床数22床と神奈川県西地域の唯一の終末期医療を支えるには限界の規模である。						
2025年に向けた方針							
病床機能 (2025年予定)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護施設等	計
				22床			22床
今後地域で担う役割等	地域包括ケアシステムの中で、拠点となる保健・医療・看護・介護・福祉への貢献						

病床機能の変更(増床・減床を含む)を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	変更の予定なし		
診療科や、その他の機能の変更、見直し等を予定している場合 ・具体的内容 ・理由 ・予定時期等	変更・見直し等の予定なし		
その他・自由記載欄	緩和ケア外来の利用率上昇に向けての活動 がん相談事業(がん患者カウンセリング加算・算定)の整備		
数値目標等			
項目	現状(2018年)	目標(2020年)	※病棟ごとに大きく異なる場合は、病棟ごとに記載
病床稼働率	72.1%	86.3%	
手術室稼働率			
紹介率	100%	100%	
逆紹介率	0%	5%	
他医療機関・介護施設等との連携について			
主な受入元 (医療機関・施設名)	東海大学医学部附属病院、小田原市立病院、東海大学附属大磯病院、平塚市民病院、神奈川県足柄上病院、国立病院療養機構神奈川病院、平塚共済病院、秦野赤十字病院、神奈川県立がんセンター		
主な退院先 (医療機関名・施設名)	ほとんど自院での死亡退院		
特に力を入れている疾患等	がんにおける疼痛などの緩和ケア		
入院不可・対応不可の疾患等	非がん患者		
連携に関する要望や課題認識等	在宅支援診療所との前方・後方連携体制の構築 居宅介護施設等との連携強化		